

大里小だより

2月号

令和4年2月17日

学級閉鎖になり、ご心配をおかけしております

3年1組の学級閉鎖が終わり、14日より授業を再開しました。学校としては、登校時に児童昇降口での検温・各教室での健康観察、マスクの正しい着用指導、休み時間ごとの手指消毒および教室の全換気、給食時の管理徹底を行い、校内での感染拡大防止に努めています。いつ、どこで、だれが感染するか分からない状況ですが、これからも学校と家庭でできることを行い、協力し合っていきましょう。

保護者アンケート・児童アンケートの結果

昨年11月に、学校教育の改善に役立てることを目的に、アンケートを実施させていただきました。ご協力ありがとうございました。

*健康と安全のために時々確認を

前号で「テレビやゲームの時間にルールを決めている」について、親子のギャップがあったことをお知らせしましたが、もうお子さんとルールの確認は済んでいますでしょうか。「うちの子はゲームがあまり好きではないから、ルールを決めるほどではない」というご家庭は、〇時間までというルールでなく、「見過ぎない・やり過ぎない」という約束の確認で大丈夫です。

また、お子さんにスマホの使用を許可しているご家庭は、このことについてのルールを決めておくことも、お子さんを守るために重要です。さらに、ゲームもインターネットにつながりますので、顔も年齢もわからない人とお子さんがやり取りをしていることがあるかもしれません。何かの被害に遭わないよう気をつけてください。

*学年通信やホームページの情報を増やします

保護者のみなさんにしていただいたアンケートですが、本年度も新型コロナウイルス感染症の流行のため、学校にお越しいただく機会が少なかったため、「学校は、・・・している」とアンケートで尋ねられてもわかりにくかったと思います。流行の第6波が収束していけば、来年度授業参観をしますが、こればかりはわかりませんので、必ずできることとして学年通信やホームページに掲載する「学校は・・・している」情報を増やしていきます。楽しみにしていただけると、取り組んでまいります。

*家庭学習を充実させたい

こういう学校の願いがあって、アンケート項目④⑤⑥番で家庭での様子を、毎年確かめているのですが、自分で計画を立てたり、自分から課題を見つけたりして家庭学習に取り組ん

でいる姿が、あまり見られていないようです。児童のアンケートでも同様でした。取組が不十分でした。新学年になるに合わせて次のことを指導していきますので、ご協力ください。

まず、生活習慣として家庭学習をする時間を決め、守ってほしいと思います。学習時間のめやすは、15分×学年です。宿題をして残った時間は、自主学習(3年生以上)や家での読書にあててもらいます。それぞれ何分間したかの記録を見て、子どもを励ましていきます。また、1週間のうちにする課題を出したり、テスト日の予告をしたりして、自分で計画を立てて学習するようにしていきます。

授業でも、「分からないことや興味のあることを進んで勉強する(低学年)」「自分から課題を見つけて勉強する(高学年)」子ども姿が見られる学習過程の工夫をしていきます。

***持ち帰ったテストを見てやってください**

学校ではテストが返されたとき、必ず間違ったところを直します。そして、そこには各担任の個性が表れています。きょうだいがいれば、比べてみてください。

- ・間違えたところを子どもは赤で直し、先生が青で丸をします。
- ・間違ったところの振り返りをして、必ず直してから持ち帰ります。
- ・直したテストを先生がチェックして、100点になってから持ち帰ります。
- ・子どもは赤で直して先生に出します。ちゃんと直せていけばサインをします。
- ・子どもは赤で直して先生に出します。間違いが多かったところは、類似問題を宿題としてやってもらいます。
- ・解答をみんなで共有します。必ず直して提出してもらいます。
- ・全体でテスト直しをして、提出してもらいます。先生は、直せているかチェックしてから返却しています。

***ほめたことが、認めたことが、子どもの心に響くように**

「(家庭で)子どもの良いところを認め、ほめるようにしている。」97.5%
と、とても温かい対応をいただいています。また、

「学校は、子どもの良いところを見つけようとしている」92.1%

「学校は、子どもたちのがんばりを認めようとしている。」93.1%

「学校は、子どもたちの挑戦しようとする姿を認めようとしている。」92.6%

と、高い評価をいただいています。子どもたちの意識は

「自分にはよいところがあると思います。」82.8%

と、それほどでもありません。(もちろん高い数値ではあります)

子どもの心がこちらを向いているときが、グッドタイミングなのでしょうね。逃さないようにしたいものです。「数打ちゃ、どれか心に刺さるだろう」は、私の反省です。

★児童アンケートで、「まったくあてはまらない」と回答している児童が数名います。これらの心配な児童については各担任が把握しており、話を聞いたり、様子を見守ったりしていますので、ご安心ください。